



振込の24時間365日対応について

【日本商工会議所 中小企業委員会】

全国銀行資金決済ネットワーク
事務局

平成30年4月19日



目次

項目	頁
全銀システムの概要	P3
振込の24時間365日対応の概要	P5
経緯	P6
システム構成・開発状況	P7
参加状況	P8
留意をお願いする事項	P9
周知・広報用チラシについて	P11

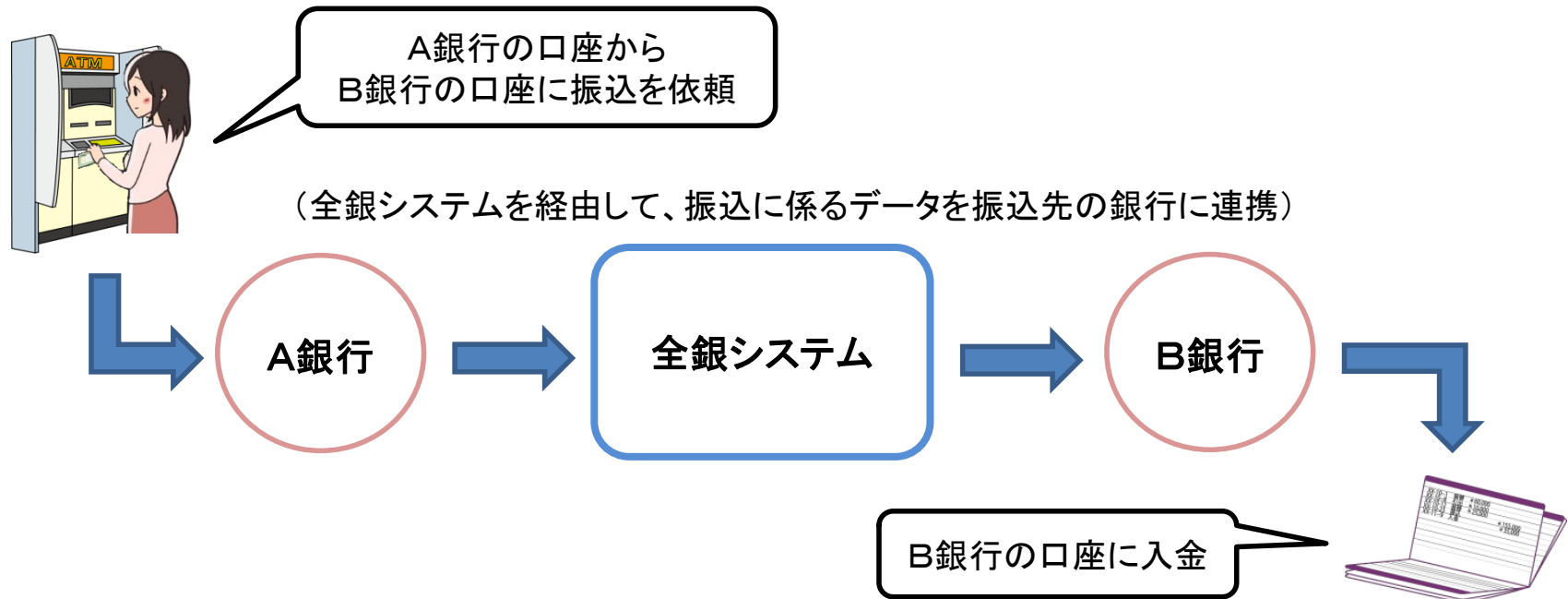


全銀システムの概要①

全銀システムとは

- 日本全国の金融機関をつなぎ、異なる金融機関間の振込を実現しているシステム。
- 当法人は、一般社団法人全国銀行協会の関係法人として、全銀システムに関する企画・運営や、振込に関する金融機関のルールを作成を行っている。

【振込依頼から入金までのイメージ】





全銀システムの概要②

加盟銀行の状況(平成30年3月末現在)

- ほぼすべての預金取扱金融機関が参加。全国をカバーする広範なネットワークを構築。

	加盟銀行数	店舗数
都市銀行	5	2,201
地方銀行	64	7,521
信託銀行	9	469
第二地方銀行協会加盟銀行	41	3,085
外国銀行	8	21
信金中金・信用金庫	262	7,355
全信組連・信用組合	147	1,654
労金連・労働金庫	14	618
農中・信連・信漁連・農協	717	7,937
その他(ゆうちょ銀行・ネットバンクほか)	14	424
合計	1,281	31,285



振込の24時間365日対応の概要

目的・開始予定日

- 振込の24時間365日対応とは、全銀システムを24時間365日稼働させる取組み(これまでは、平日日中帯※1のみ稼働。)※2。
- これにより、平日日中帯以外の時間帯(平日夜間や土日祝日)に行った振込が、即時に相手先の口座に入金されるようになる。
- サービス提供開始予定日は平成30年10月9日(火)午後3時半。

※1 通常午前8時半～午後3時半。年末営業日を除く月末営業日は、午前7時半～午後4時半。

※2 平成31年11月の全銀システムの全面更改により一時的に停止することが予定されている。

本取組みへの参加

- 本取組みへの参加は、金融機関ごとに任意であるが、現在のところ約500の金融機関が参加。
- ただし、接続時間については、各金融機関の判断による。

新たに拡大する時間帯の非対象業務

- 1億円以上の大口資金送金(=日本銀行において即時決済)は対象外。
- 予め入金日を指定した振込(先日付振込)や総合振込、給与・賞与の振込は対象外。



経緯

国内の期待

文書名等	主な記載内容
『日本再興戦略』改訂 2014 ー未来への挑戦ー (平成26年6月閣議決定)	即時振込みなどの資金決済高度化については、全国銀行協会が諸外国の動向も参考に決済の安全性・信頼性の確保に留意しつつ具体的な改善内容・スケジュール等の検討を行い年内を目途に結論を出すこととされており、政府としてもこうした資金決済の高度化に向けた取組を促す。
金融庁平成 26 事務年度 金融モニタリング基本方針 (平成26年9月公表)	「日本再興戦略」改訂2014 を踏まえ、即時振込みなどの資金決済高度化等をはじめとする顧客へのサービス水準の向上に向けた全国銀行協会や各金融機関の取組みを促す。

海外の動向

すでに、イギリスやシンガポール、スウェーデン等、複数の国が小口送金の24時間365日稼動を実現。

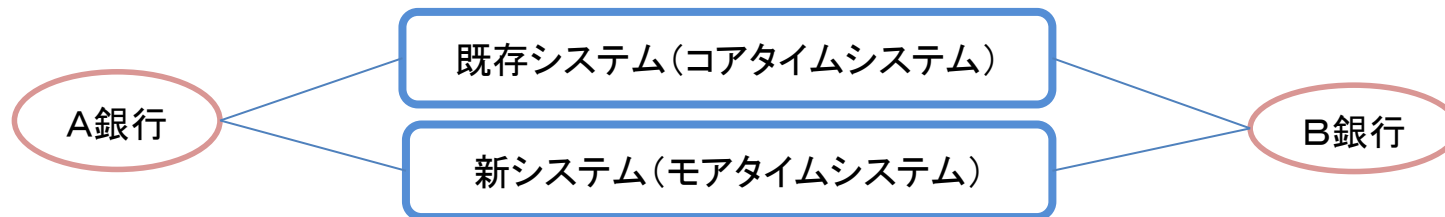
こうした国内外の動向や、銀行顧客の即時入金に対するニーズを踏まえ、全銀協とともに、本取組みの実施を平成26年12月に決定。以後、当法人がシステム開発や運営の検討を実施。



システム構成・開発状況

システム構成

- 平日夜間・土日祝日の振込に対応するための新たなシステム(モアタイムシステム)を構築。



システム開発状況

- システム開発は問題なく進捗し、現在、最終の総合運転試験を実施中。
- 今後、サービスイン判定を本年9月頃に実施予定。





参加状況

サービス提供開始当初の参加予定

- 全体の約75%の銀行と2業態(信用金庫、信用組合)^{※1}の合計約500の金融機関が、サービス提供開始当初から参加を希望。
- サービス提供開始以降も、準備が整い次第参加する金融機関があるため、参加金融機関は今後も拡大。
- なお、平日夜間・土日祝日に、参加している金融機関から、不参加の金融機関に振込が行われた場合は、翌平日日中帯(午前8時半以降)に入金が行われる。

※1 一部の信用金庫、信用組合は不参加の予定。

接続予定時間調査結果^{※2}

- 参加予定銀行^{※3}の約5割が、平日および土日祝日の全時間に接続^{※4}予定。
- 参加予定銀行^{※3}の約9割が、平日の8時半～21時および土日祝日の9時～21時の全時間に接続^{※4}予定。

※2 接続予定時間とは、即時入金に対応する時間の目安となるもの。上記は、平成28年9月末時点の調査結果。

※3 2業態(信用金庫、信用組合)はそれぞれ1行としてカウント。

※4 「全時間に接続」とは、メンテナンス等による一時的な離脱(1日あたり30分未満の離脱や月2回程度の例外的な離脱)を除き、全ての時間に接続することを指す。



留意をお願いする事項①

一般的な事項

- 本取組みへの参加や平日夜間・土日祝日における即時入金に対応時間は、金融機関ごとに決定。このため、振込が即時入金されるかどうかは、金融機関ごとに異なる。
 - ⇒参加金融機関は、ATMやインターネットバンキング等の画面で、即時入金が可能かご案内する予定。
 - ⇒全銀システム稼働時間拡大のサービス提供開始当初に参加予定の金融機関名は、5月10日頃に当法人ウェブサイト(<https://www.zengin-net.jp/announcement/>)で公表予定。
- 平日夜間・土日祝日の取引を狙った、インターネットバンキング不正送金や振り込め詐欺の発生が懸念される。
 - ⇒ご利用の金融機関のウェブサイト等をご覧いただき、最新の注意喚起やセキュリティ対策をご確認いただくようお願い。



留意をお願いする事項②

法人・個人事業主の皆様

- 平日夜間・土日祝日に預金口座の残高が増加するため、以下のご対応が必要となる場合がある。
 - ✓ 経理処理等における預金口座残高の確定時間の変更
 - ✓ 入金日を基準とするサービスや契約の見直し※1

※1 平日にのみ入金されることを想定している場合に見直しが必要となることがある。また、お取引相手との支払期日(入金期日)の認識(土日祝日を含めるかどうか)の確認が必要になる場合がある。

- 以下の点について、金融機関ごとに異なる場合がある。
 - ✓ 残高証明書の発行基準日が土日祝日である場合の表示残高※2
 - ✓ 平日夜間・土日祝日に行われた入金について、通帳等に記載される日付(「取引日」等)※3
 - ✓ 口座残高・取引明細の確認が可能な時間帯
 - ✓ 当座勘定における手形・小切手の不渡判定時限や決済資金の確定時限※4

※2 基準日当日の最終残高の場合や、基準日前営業日の最終残高の場合が考えられる。

※3 「入金日当日」の場合や、「翌営業日」の場合が考えられる。

※4 即時入金が可能なお時間とは直接関係ないため、現在のままとすることが考えられる。



周知・広報用チラシについて

経緯・内容

- 本取組みのメリットおよび前述の留意事項について予めお伝えし、平日夜間・土日祝日における振込を便利にご利用いただくため、金融機関のお客さま向けの周知・広報用チラシを作成。
- メリットや一般的な留意事項を記載した表面と、法人・個人事業主の皆様向けの留意事項を記載した裏面で構成。

今後の配布予定等

- 5月10日頃に当法人ウェブサイトに掲載するとともに、全国の商工会議所様へ配布(各先100部)。